



色鮮やかな「ほおずき」が東京を彩る

7月8日（金）、9日（土）に、東京都港区六本木の朝日神社で、日之影町が主催する「ほおずき市」が3年ぶりに開催されました。

今年で18回目となるほおずき市では、ほおずきのほか、ゆず製品や釜炒り茶といった日之影町の特産品も販売され、楽しみにしていた人たちで賑わいました。

お盆の時期には提灯の灯りに見立てて飾られるほおずきですが、その朱色には魔除けの意味もあり、悪い運気を追い払うと言われていました。大きく色鮮やかなほおずきが、コロナ禍を吹き飛ばしてくれるといいですね。

こんにちは！
河野です

高千穂町で 知事とのふれあいフォーラム 開催

7月1日(金)、自然休養村管理センターに河野知事が訪れ、高千穂高校の生徒2名を含む15名の町民の方々と意見交換を行う「知事とのふれあいフォーラム」が開催されました。

フォーラムでは、「コロナの影響で廃業になったお店もある」「高齢の方を含めて、年齢に関係なくネット通販の利用が進んでおり、このままでは商店が無くなるのではと心配している」という声が聞かれました。また、高校生からは「地域から若者が出て行くことで、町にどんどん活気がなくなっている。どのように若者を地域に残していくかが課題だと思う」という意見が出され、地元の将来を考える真剣さが知事にも伝わりました。

知事は、「久しぶりの対面形式で、大いに刺激をいただいた。しっかり思いを共有しながら、高千穂町のこと、県全体のことを、これからもがんばっていきたい」と答えていました。



くらおか 鞍岡大好き女子会 が協議会会長賞受賞！



7月19日(火)に、宮崎市内で令和4年度宮崎県道路愛護運動推進協議会総会が開催され、五ヶ瀬町鞍岡地区の「鞍岡大好き女子会」が協議会会長賞を受賞しました。

「鞍岡大好き女子会」では、同地区の女性有志が集まり、道路の草刈りやゴミ拾い、桜の植樹のほか、有機栽培した和綿を布製品にするワークショップの開催、町のゴミ処理費用を少しでも軽減できればと始めたクリーンマーケット（フリーマーケット）など、地元鞍岡を元気にするため幅広く活動を行っています。

この賞は、道路愛護についての功績が特に顕著な団体等を表彰するもので、日頃の活動が、道路の安全や沿道の良好な景観形成に大きく貢献していると高く評価されました。

この日は「鞍岡大好き女子会」を代表して出席した那須 美智子さんから会員4名に、協議会会長から賞状や記念品が贈られました。

中国から来ました！ 留学生カルくん

高千穂高校では、文部科学省の「アジア高校生架け橋プロジェクト」により、7月4日(月)から3月10日(金)まで中国からの留学生を受け入れています。名前は河流(カル)くん、15歳です。コロナ禍が続く、外国人と直接接する機会が少なくなっていますが、生徒たちは、カルくんとの交流を通じて国際感覚を磨いてくれることと思います。

今後、カルくんは、西臼杵の小学校などで中国の文化の紹介も行う予定です。



おいしい^{かしゅう}夏秋野菜の出陣です！



西臼杵地域では、冷涼で一日の気温差が大きいという高冷地の気候を生かして、きゅうりやトマト、ミニトマト、ピーマン、ほうれんそう、なすなど、質の高い夏秋野菜が生産されています。味がよく、鮮度も長く保たれるため、宮崎市や延岡市、鹿児島市などの市場でも高く評価されています。今年、梅雨が短く天候に恵まれたことから、例年より多い収量が見込まれます。燃油や肥料の価格高騰によって苦勞されている生産者の皆さんへの応援にもつながりますので、おいしい西臼杵の夏秋野菜を、ぜひ、この機会にご賞味ください。

県議会特別委員会が おおひとすばる 大日止昂小水力発電所を 調査しました

7月27日（水）、県議会ゼロカーボン社会づくり推進対策特別委員会（山下 寿 委員長）が日之影町を訪れ、大日止昂小水力発電所を調査しました。

温室効果ガスの排出実質ゼロを目指す取組が求められる中で、同委員会は、ゼロカーボン社会づくりに向けた対策を調査するために、県議会に設置された特別委員会です。

大日止昂小水力発電所は、急峻な地形による高低差を生かし、山腹用水路の水を発電に利用した発電所です。最大出力は49.9kwであり、その売電益は、用水路の保全・管理や大人（おおひと）歌舞伎の継承活動などに活用されています。

調査では、大人発電農業協同組合の田中弘道 代表理事からこれまでの取組について説明を受け、委員の皆さんは、さまざまな困難を克服し、地域がひとつにまとまって発電所建設が実現したことに強い関心を寄せていました。



国道218号高千穂トンネルの 入口壁面がきれいになりました



国道218号高千穂トンネル入口壁面の清掃を行い、神楽の舞（東側入口がタチカラオノミコト、西側入口がアメノウズメノミコト）の生き生きとした絵柄が蘇りました。

延岡方面から高千穂町に入る玄関口であるこのトンネルは、供用開始から20年以上が経ち、水垢などの汚れが目立っていました。

清掃は2日間にかけて行われ、交通規制を行いながらの大変な作業となりましたが、施工業者さんには地元への愛を込めて丁寧に清掃していただきました。

支庁職員が山腹用水路の清掃を体験しました

7月30日（土）と31日（日）に、高千穂町の押方土地改良区の皆さんによる山腹用水路の清掃が行われ、西臼杵支庁農政水産課の職員も作業を体験させていただきました。

周辺の草刈りから始まり、用水路の底に貯まった土砂をスコップで上げていきました。素掘りのずい道の中では、腰をかがめながら、壊れ落ちた大きい石や詰まった落ち葉、木切れを取り除きました。暑さの厳しい時期に行った清掃作業の体験を通して、用水路の維持管理がどれほど大変なことか、身をもって実感しました。



ずい道内の清掃の様子

先人たちによってつくられた山腹用水路や、水を末端まで行き渡らせるため地域で協力しながら水を管理・利用する仕組みは、急峻な地形の中で営まれてきた西臼杵地域の農業を永く支えてきたものであり、世界農業遺産の認定においても高く評価されました。

しかし、時代とともに用水路の劣化も進んでいます。高齢化や人口減少が進む中、地域農業を持続させていくためには、現代の技術で改修し、できるだけ維持管理の負担を減らしていくことがとても重要です。

西臼杵支庁では、これからも町と連携し、地元の皆さんの要望や意見を伺いながら、地域の大切な財産である山腹用水路の改修を進めていきます。



ご年配の方が「自分たちは、これから何年清掃を続けていけるのだろうか」と心細い思いを口にされていました。地元の方々の用水路の維持管理が少しでも楽になるよう、役に立ちたいと思います。

五ヶ瀬中等教育学校で オープンスクールを開催します！



昨年度の様子

五ヶ瀬の大自然の中で磨かれた感性豊かな生徒たちの姿をぜひご覧ください！



清掃に参加した
白坂 春樹 主任技師

日時 9月3日（土） 12:50～16:15
【 応募締切 8月29日（月） 】
場所 五ヶ瀬中等教育学校 体育館
対象 小学生（学年不問）及び保護者1名

内容 ・全体説明（学校の概要等）
・グループ活動（体験授業、寮見学、座談会）

お申込み：URLまたはQRコード、参加申込書から
お問合せ：0982-82-1255

URL <http://forms.gle/UbDe1NLioasA3Z6b6>



西臼杵観光推進連絡協議会 公式Instagram

発行／宮崎県 西臼杵支庁 編集／総務課
〒882-1101 宮崎県西臼杵郡高千穂町大字三田井22
TEL 0982(72)2181 FAX 0982(72)3760



神話伝説の山里
「高千穂郷」通信

